

創立

100周年
記念式典

2022

11.11

FRI

開催
決定！

百尺竿頭

— 高みに向かって一步前進！ —



Fuji High School

1923 - 2022

the journal
of "Fuyu-kai"

No.
75

静岡県立富士高等学校
同窓会 富友会

富友会

会誌

2022



富士高校創立100周年記念サイト公開中
「富士高100周年」で検索！

fujii100.jp

富友会総会についてのお知らせ

今年の富友会総会は、コロナウイルス感染防止のため、下記の通り規模を縮小して行うことになりました。ご理解をよろしくお願いいたします。

- 1 日時 令和4年8月20日（土） 12時30分 受付 13時 開会
- 2 会場 富士市交流プラザ 多目的ホール
- 3 総会 規模を縮小し、役員及び各年次の代表(常任幹事会のメンバー等)により、議案審議をお願いします。
- 4 講演会 「ミステリー作家の作法」… 横関 大氏 (高45回、作家)
- 5 懇親会 本年度は中止します。

担当幹事 : 高校33回、38回、43回、48回

問合せ先 : 高校33回 高野 亨 t-takano@ny.tokai.or.jp

も く じ

巻頭言…………… 幹事長 小池 智明(高二十九回) …… 1

これからがこれまでを決める…………… 会 長 船村 雅彦(高二十九回) …… 2

校 長 杉山 禎……………

御挨拶…………… 3

一〇〇周年記念事業へ寄付のお願い…………… 4

一〇〇周年記念事業実行委員会委員長 小室 直義(高十九回)……………

随 想…………… 5

講演に魅せられて 佐野敏子(高十九回)・予防医療の大切さ
若林敏二(高十九回)・新聞の衰退 篠原光秋(高二十回)・「田村君」加藤(望月)敏子(高二十回)・【六十歳からの十年の楽しかったこと】 瀧政久(高二十回)・回想録 鈴木章文(高二十四回)・われらが担任 大石広和(高二十九回)・真夜中のハンドボールコート 深澤竜介(高三十三回)・青春のリグレット 大澤智正(高三十九回)・今 富士高に何ができる? 後藤哲男(高四十回)・富士高時代のこと 現在の自分や同級生の様子 浅井隆志(高四十四回)・法律家の仕事 塩谷知一(高四十九回)・三十路を超えた『ゆとり世代』 上杉雄大(高五十九回)

学校だより

部活動の記録…………… 18
学び続けよう ―二〇二二年度入試を振り返る―…………… 23
大学別合格者数…………… 24
最近三年間の卒業生の合格状況…………… 26
人材の情報提供のお願い…………… 27

事務局より

富友会寄付・会計報告…………… 30
富士高校クラブ後援会からのお祝い…………… 32

校訓



克己修身を練り
勤勉實力を養え
至誠事に当れ

巻頭言

「国家有為の材たるべし」と「30歳過ぎたらUターンも良いかも」

富友会 幹事長 小池 智明 (高29回)

「少子高齢化」と言われ、既に何年になるでしょうか？

地元で生まれ育った数少ない若者の多くが、大学進学や就職を機に首都圏等に流出し、さらに地方の「少子高齢化」に拍車がかかる。そんな状況が続いています。

ショッキングな数字があります。

富士市の若い女性(20～24歳)の市外への転出超過者数(転出者数－転入者数)は、(平成28年と少し古いデータですが)年間214人であり、これは全国1,741市町村の中でワースト19位です。

一方、富士市の高校卒業後の大学進学率は、男女とも静岡県平均より高いのですが、特に女性は県平均52.5%に対し、富士市は61.8%と約10%高くなっています(令和元年)。

大学がない富士地域から首都圏等の大学に進学し、就職を機に地元の富士市・富士宮市から住民票を移している。そんな状況が想像されます。

50年近く前、私(高29回)も首都圏の大学に進学しましたが、長男ということもあり、卒業後は自宅から通える県内の企業に就職しました。同じように地元に戻って就職したり、家業を継ぐ同級生がまだまだ多くいました。

しかし今は全く違います。

私は現在、ハンドボール部のOB会長を務めています。

毎年正月に「初投げ」が行われ、帰省に合わせ多くのOB・OGが集まりますが、20～30代の若い彼等と話をすると、大半が首都圏等で働いており、地元に戻っているのは市役所、県庁、教員、一部の企業・金融機関に勤務する者等、ごくわずかです。

OBチームやOB会の体制そのものが、今後維持していけるか心配になってきます。

「国家有為の材たるべし」と校歌に歌われるように、日本を代表する大企業等で、世界を股にかけバリバリ活躍する。これも一つの生き方です。

一方、価値観や働き方が多様化し、転職する若者が更に増加しています。

中には、首都圏で知り合い結婚したが、子どもができれば収入が夫だけとなり、家賃等が負担となり大変なので、のびのび生活できる静岡で転職したい。あるいは、リモート勤務が可能になったので、富士に家を建て戻りたい。そんな話も結構聞くようになりました。

富士市、富士宮市、静岡県では「Uターン」を促進するため、中途採用企業や住宅取得に際しての補助金等の情報を市や県のホームページで積極的に紹介しています。

Uターンを考えている若い皆さん、そして父兄の皆様、是非一度覗いてみて下さい。

自宅から通える範囲にも、皆さんの技術や経験を活かせる優良企業がたくさんありますよ！

そして富友会が同窓会のネットワークを活かし、こうしたUターンの一助になるような活動に、100周年を機に取り組み始めることができないだろうか？

そんなことを考える今日この頃です。



これからがこれまでを決める

富友会 会長 船村 雅彦 (高29回)

今から99年前の1923年(大正12年)旧制富士中が創立されました。今年は富士高創立100周年の年になります。長い年月の積み重なり、歴史の重みというのを感じます。

30年ほど前のテレビのコマーシャルで強く印象に残った言葉がありました「時は流れない、それは積み重なる」サントリーウィスキーの宣伝文句だったと思いますがショーン＝コネリーの名演技とともに心に深く刻み込まれ、コピーライターの作品とは言え私の座右の銘となりました。

振り返ってみれば富士高時代の3年間での思い出といえば、高原教室、合唱コンクール、富嶽祭、体育祭、2月祭、球技大会、水泳大会、勉強も少しはした事、これらの積み重なった時間の数々、もちろん楽しい事ばかりでなく悔しい事悲しい事怒りに燃えた事、それらの全てが今の自分自身を形成している。よくよく考えてみれば富士高の100年の歴史というものは今の現役学生や先生方そして今までの歴代卒業生全員のひとりひとりの人生の時間の積み重なりで成り立っている。

さて表題に挙げた「これからがこれまでを決める」ですが、おやっと思った方が多いと思います。ふつうは原因があり結果が生まれる、つまり「これまでがこれからを決める」今までの行動がありその結果として現在があり未来があるはずだ!と私もずっとそう思っていました、この言葉に出会ったとき今までのいろいろな過去の事に割とこだわりながら生きてきた私の心が突然軽くなり歩く足取りも軽くなったように感じました。「これからがこれまでを決めるんだ!」

100周年記念事業に関しての寄付金のお願いが各方面からしつこい様に皆さんに届いていると思います、本当に申し訳ありません。

「俺は高校時代ろくな思い出がないんだ!」「俺は富士高になんか世話になっていないよ!」という方こそお願いします、これからがこれまでを決めるんです。富士高そのものがあったから仲間がで、そこに青春があったんです。そしてこれからの人生もあります、積み重なった時間は決して無くなりません。



御挨拶

校長 杉山 禎

富友会の皆様には、益々御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より母校に対する深い愛情とともに、本校の教育活動に対しまして御支援と御協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

新年度を迎え、本校にとっては創立100周年となるメモリアルイヤーの幕開けとなりました。これまで、長期にわたり小室実行委員長、船村富友会会長を中心とする多くの方々の御尽力により、入念に準備を整えていただいています。この記念事業を「在校生と卒業生による協働事業とする」ことを合言葉に、在校生にも当事者意識を持たせ「自分たちも創立100周年の主演である」と意識させるべく、様々な試みを行っています。

まず手始めに、百周年記念事業のスローガンとシンボルマークを、生徒会主導で生徒の手により考案、作成しました。さらに、それらを横断幕という形で、地域の方々に広くPRしました。記念事業の大きな核となるのは、シンガーソングライターとして活躍する卒業生の結花乃さんが手がけた2曲の百周年記念歌、「学び舎」と「はじまりの鐘」の披露と生徒たちによる合唱です。校舎の情景が目の前に浮かび、学生時代の喜びや感動、汗や涙が鮮やかに思い起こされる素晴らしい楽曲です。式典当日、会場で声高らかに響かせるべく、生徒たちが準備を重ねています。また、式典では、同窓生と現役生徒のパネルディスカッションも予定されています。現役生の探究活動の成果を来場者に披露する場も企画されています。

その他にも、記念事業の一環として、実行委員会各部会を中心に、100年間の歩みの証である記念誌の作成、記念DVDの制作、100周年記念webサイトの立ち上げ、SNSを活用した広報活動作成など、在校生と卒業生による協働作業がいたるところで着実に進行しています。さらに、皆様からの寄付により、各教室の椅子や机を一新し、快適な学習環境を整備するという壮大なプロジェクトも進行しています。

私は校長として、本校のために誠心誠意御尽力されている同窓生の方々と接するたびに、本校の生徒たちは本当に恵まれているなあと感じています。もちろん、100周年記念事業はこれがゴールではありません。年が明ければ、150周年、200周年を目指して、本校の新たな歴史がスタートします。そして、その主演となるのは在校生たちです。先輩が自分たちのために記念歌を作ってくれた。富士高の未来に向けて一緒に考えてくれた。たくさんの方々の寄付をして自分たちの教育環境を整備してくれた。こうした有形無形の愛情が生徒たちの心の奥深くに根付き、将来の後輩たちのために、次は自分が支えていく側に立つ。こうした愛情の連鎖が、未来の富士高を支えてくれると信じています。

富士高ならではの思いの詰まった100周年式典がもうすぐそこに迫っています。この晴れの舞台において、富士高校の素晴らしさを大々的にアピールしたいと考えています。富友会の方々、在校生、本校職員ほか、全ての関係者のお力を結集し、皆様の心に残る周年行事が実現できるよう、これからも全力を尽くしてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

100周年記念事業へ寄付のお願い

100周年記念事業実行委員会委員長 小室 直義 (高19回)

100周年に向けて寄付願いを始めたのが昨年10月から。7カ月経った令和4年4月末現在の寄付状況は、特定寄付33,501,000円(目標額50,000,000円に対し67%)、一般寄付11,113,000円(目標額20,000,000円に対し55.5%)であります。

未だ寄付をなされてない同窓生の皆様によりしくご協力をお願いするところです。(寄付済みの方には厚かましくもさらなるお願いをいたします)

さて、そこで現在進行中の100周年事業のうち広報部会・記念部会・総務部会よりそれぞれの事業をアピールしていただくこととしました。そのことによって皆様方が100周年に眼を向けられ寄付に繋がれば幸いと思っております。

●(広報部会 鈴木孝治部長26回)

皆さんの富士高時代は、どの様な思い出として記憶に残っているのでしょうか? 人生のたった3年間(定時制の皆様はもう少し長いかも)なのに、きっと、勉強、部活動、学校行事など様々な想いに綴られていることと思います。そんな記憶を鮮やかに呼び戻してくれるのが、富士高100周年記念特設ウェブサイトです(「富士高100周年」で検索してください)。このサイトのお勧めは、まず、現役生による部活動の紹介の動画! 同窓生の皆さんが所属した部活動の今をリアルに見ることができます。秀逸は生徒会作成の「真・富士高体操」。これは必見です。また、「活躍する同窓生」のコーナーには、野球部甲子園出場時の主将高32回の三雲薫さんやフジテレビの高42回佐野瑞樹アナウンサーの現在の活躍をご覧ください。Facebook、Twitter、Instagram も運営しています。ついでに「ご寄付の案内」もクリックしていただけたら、幸甚に存じます。

●(記念誌部会 長橋均部長21回)

『富士100周年記念誌完成間近 2万円以上のご寄付で進呈』

富士高100周年記念誌が完成間近です。第1章は「100年の軌跡」。旧制中学1回生から高校74回生までの全学年、ひたむきに勉強や部活に取り組み駆け抜けていった青春が、写真と寄稿文(一部に過去の記念誌転用を含む)でよみがえります。第2章は「富士高校の煌めき」。2度の甲子園出場、百人一首部の活躍、ノーベル賞候補であった故戸塚洋二先生を取り上げました。第3章は「富士高校の今、そして未来」。富士高校の教育及び生徒の学校生活や将来の夢等で構成されています。是非とも記念誌を手に取り、我が青春と富士高100周年の歴史を実感してください。なお、本事業20,000円以上の寄付者には記念誌を贈呈いたします。

●(総務部会 小池智明部長29回)

『記念DVD紹介』

100周年記念DVDは、富士高の「100周年の歴史」と100周年を迎えた「現在」を映像(写真と動画)で楽しめる作品です。中でも注目いただきたいのは「校歌」(富士高に関係する多くの方々から「霊峰富嶽の～」から始まり15のパートに分かれリレー方式で繋がります)。そして「高校生による人文字」(ドローンで撮影した校舎・グラウンドに生徒が集まって100周年を祝う人文字が描かれます)。その他に富嶽祭等の学校行事や富友会総会、記念ソングの発表、そして記念事業として取り組んでいる新しい机・椅子の運び込みや授業の様子等々、「なつかしい歴史」と「新たな100年に向けた今」が盛りだくさんです。

以上、100周年記念事業へご協力を重ねてよろしくお願い申し上げます。

随想

講談に魅せられて

佐野 敏子

(高十九回)

釈台と呼ばれる小さな机の前に座り、張り扇でそれを叩いて調子を取りつつ歴史にちなんだ軍記物・怪談等を読み上げる講談、地方に居て学ぶ事は難しいと思っていたが、保育園勤務の定年が近くなつた頃学ぶ機会が巡ってきました。東京上野の広小路亭で開催されている神田陽子(二代目神田山陽門下の女性講談師)講談教室に通い始めて十七年になりました。プロになる為の前座修行は全く趣味の範囲で学び始めましたが、仲間の講談、迫力ある師匠の指導を目の当たりにする事が楽しくなり続けることができました。通い始めて間もなく講談を学んだり広めたりすることに熱心(?)とのことで芸名(神田ぐれいてる)を頂きました。これは教室の皆様には、手作りケーキを振舞っていたため、可愛い名前をくれたのかと思われまふ。ジャンルは、世話物・怪談・タイムリーなその年の大河ドラマの凝縮編等多々ありますが、私は富士地域の皆

様に親しみのある清水次郎長伝 白隠禅師、唐人お吉等の話をなるべく選ぶようにしております。「講談師見てきたような嘘を言い」と言われますが本を読みどの部分をデフォルメするかを考えるばかりではなく、話の舞台になる地に向いて感じたことを「枕」や「くすぐり」に織り交ぜたりすることも楽しみの一つです。

活動は、東京での発表会の他ボランティアで地元の高齢者学級や寄り合い処にしばしば呼んで頂いております。皆様に笑ったり涙したり頷いて貰えるのは大きな励みです。大きなイベントとして、毎年四月に「菜の花講談会」として地域の皆様にも気軽に講談に親しんで頂きたく、師匠や仲間、落語家さんの協力も得て我が家の古い大きな母屋を会場にして開催しています。お蔭様で盛況であり午前の部、午後の部満員御礼状況です。しかしコロナ禍三年中断を余儀なくされてはいますが十四回目を一日も早く開ける日を待ち望んでいます。最後に講談を通じて多くの人に学ばせていただいた事に感謝申し上げますとともに、少しでも恩返しになればとの思いで、余生を頑張らせて頂きたいと考えております。

随想

予防医療の大切さ

若林 敬二

(高十九回)

「備えあれば憂いなし」、「転ばぬ先の杖」等のことわざが示す様に、人々は色々な危険を事前に察知し対処してきた歴史がある。疾病対策の歴史も同様で、世界中の人々を恐怖に陥れた天然痘、結核やマラリアなどの感染症は、生活衛生環境の向上、食事、栄養の改善、ワクチンの開発等の予防医療の進展により防衛されている。最近、毎日の様にマスクに取り上げられている新型コロナウイルス対策もソーシャルディスタンス、マスクの着用、ワクチン接種の重要性が指摘されている。

感染症と並んで糖尿病、高血圧及びびん等の生活習慣病対策にも予防措置は大きな効果をあげている。私は、山梨県南都町に生まれ身延線で富士高に通学し、大学卒業後、1979年から30年間、東京築地の国立がんセンター研究所に勤務した。研究所では部長、副所長、所長を

歴任した後、2010年に静岡県立大学に異動し、現在は特任教授として勤め、一貫してがんの予防研究に従事している。

がんは40〜50年前には不治の病と呼ばれ、特別な病気と思われていた。その後、がんの患者数は急速に増加し、2000年代に入るとがんは病院の中だけのものではなく、我々の身の回りで起こる日常的な出来事の一つとなった。年輩いた両親にがんが見つかり、親戚のおじさんがんで亡くなり、同級生の中に検診で早期のがんが見つかり治療している人がいる。2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなり、今やがんは誰もがなりうる病気であることが実感される。

がんは、もともと正常だった細胞が、生活習慣や環境要因、遺伝的要因等によって遺伝子情報に段階的に変異が生じ、無制限に増殖する細胞に変わったものである。がん発生の3つの主原因は、タバコ、毎日の食習慣、細菌やウイルス感染とされている。正常細胞ががん細胞に至る時間は長く、また、発生してから症状が出るまでも長い時間を要し、一般的には10年から30年かかるといわれている。このようながんの性状を理解し、がんの罹患率、死亡率の動向を分析していくと、が

んは発生原因を排除し、早期に見つけられれば治療できる病気であることがわかってきた。がん対策の中で、早期発見・早期治療が大切なことは、5年生存率をみればよくわかる。胃がんを例にあげると、I期で94%、II期で86%治療できるのに、III期だと44%と約半分になり、IV期では6%と完治が難しくなる。がんを早期に見つけるにはがん検診が有効である。我が国では、罹患率の高い胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、肺がんについては集団検診が実施されている。しかしながら、日本のがん検診受診率は欧米諸国に比べかなり低く、その対策の重要性が指摘されている。

誰でもがんになり、がんの経験者として生きていく可能性のある社会になってきた。しかし、がんは不治の病から治療できる病気になり、早期に見つければ、体への負担は少なく、治療率は80%を超えている。更に、医療費も少なくて済む。私の推奨する3つの大切ながん予防は「禁煙」、「バランスのとれた食生活」、「定期的ながん検診」である。がん克服にはがん予防が極めて大切である。

随想 新聞の衰退

篠原光秋

(高二十回)

新聞の発行部数が減り続けている。日本新聞協会の調べによると、ピークだった1997年に5,376万部だった部数が、2021年には3,303万部と、4割近く減っている(各年10月)。全国紙の中には最盛期の半分以下になっているところもある。40年以上にわたり「新聞で飯を食ってきた」身からすると、寂しい思いがぬぐい切れない。

私が新聞社に入社したのは1972年。部数が毎年増え続ける時期だった。仕事はハードで、今ならブラック企業と言われてそうだが、自分の興味を活かすことができ、そこそこに社会的意義も感じられる楽しい仕事だった。速報性に優れたテレビに主役の座を奪われる、という話が飛び交ったこともあったが、杞憂に終わった。

発行部数の減少が話題になり始めたのは、「若者の活字離れ」が話題に上り始めたところからだろう。文学書が売れなくな

り、週刊誌などの雑誌が減り始め、とうとう新聞にまで波及し始めた。

まだ減少途上のようなので、「トドメ」とまではいにくいが、部数減少に大きな影響を及ぼしたのがインターネットやスマホなどの普及だ。通勤電車で見聞を読む人が減り、スマホを覗く人が圧倒的に増えた。ニュースは、新聞からより電子情報としてネットの環境から得る人が増えた。ただ、ここまでならまだ新聞や新聞記者の果たす役割は変わらない。

ところがネットにおける様々なサイトには、事件現場を直接見た人たちの情報が寄せられるようになってきた。現役時代は警察からの一報で事件や火災現場に駆け付け、速報性を競った。しかし今ではその場にいる誰でもが、スマホとカメラさえあれば現場の速報は可能だ。論説など解説部門も同じだ。どんな難しい問題でも専門家のさまざまな見解が載るようになった。例えばコロナに関しては新聞やテレビに出ることもない一般の医師や研究者が、専門外のことをさも知ったかのように発言するコメントーターに鋭い批判を浴びせる。

かつて速報性を競った旧来のメディアは一次情報を持つ一般の人たちに、速報

性でも臨場感でも太刀打ちできない。解説でも紙面に制約のある新聞に対し、ネット空間は制約がない上に双方向性でもある。専門家に聞きたいことが聞けるし、その専門家に不信を抱いたら別の専門家の意見も探せる。言ってみればセカンドオピニオンまでサービス可能だ。

新聞業界にとつては大変な世の中になったものだ。では新聞に未来はないのか。そんなことはないと思う。衆屋落ちのような話だが、全国紙の凋落ぶりに比べ、地方紙はそんなひどくないとも言われる。理由の一つに「訃報記事」を上げる人もいる。必要な記事があれば買ってくれる人はいる。要は読者の欲するテーマをタイミミングよく提供していくことだ。簡単ではないが、後輩諸君の頑張りに期待したい。

随想

「田村君」

加藤(望月)敏子

(高二十回)

の整理をした。最初は読まないで捨てようと思っていた。それがいつの間にか読んでから捨てるように変わっていた。

古い年代順に束ねている輪ゴムは劣化して切れたりペったりへばり付いていた。高校の時同じクラスだった田村君からの年賀状もあった。

昭和42年43年44年47年と4枚あった。

田村君とは全く話したことはなかった。否一言は話したかも知れない。

田村君は山梨の南部から通学していた。伊豆へのバス旅行の朝、南部は雨で田村君はバス旅行は中止と判断して通常の授業の仕度で登校した。

乗り込んだバスの席は間近だった。私は持つて来たお菓子を田村君に渡した。

後日田村君から丁寧な礼状が届いた。

田村君からの最後の年賀状には「京都に三年住んでみてますます京都の良さに心ひかれています。もし貴女が京都を訪れることがありましたらお会いしてみたいと存じます。」とあった。

私が京都を訪れたのは随分時が経ってからだが田村君のことは忘れていた。

田村君が再び私の前に現れたのは何十年も経った同窓会の物故者の名簿の中だった。そこに「田村明久」の名前があった。

随想

【60歳からの10年の

楽しかったこと】

瀧 政久

(高二十四)

私の60歳からの楽しかったことを紹介します。

40代、50代の会社生活は、プロジェクトリーダーとして、新製品開発の企画、立ち上げや、開発時の技術課題の解決、開発過程で発生した問題の原因の究明など、夢中で仕事をしていたので楽しく面白かったです。

60歳になってやり切り感があつた。次は何を楽しみにしようかと考えて旧東海道歩きや、山の会へ入会して山歩きを始めた。

そうしている時に、すでに中国の企業に就職していた友人から誘われて、62歳で、中国の浙江省にある民間の自動車会社の関連する変速機会社へ就職した。

この会社で、新型変速機を開発するプロジェクトだ。この会社は中国の民営の自動車会社であり、10年前はまだ小さな会社だったが、これからどんどん成長していくと言う意気込みが、経営者から、一般従業員まで溢れていた。

中国の会社に就職したので、社内会議や、食堂、社宅、市内の買い物等で中国人従業員や現地の市民と直接関わったので、中国での生活は結構面白かった。

結局このプロジェクトは、準備が出来ておらず、私達が中途採用や、新卒の採用をして、プロジェクト要員を集め、企画、設計して行くというものだった。いくら何でも、私一人では新型変速機の開発ができる訳もなく、中断してしまつたので、この時の中国滞在は1年間だけだった。

また、6年後の2018年に再度、別な会社で技術顧問として中国で新型変速機の開発に関わった。

この2回の中国滞在の経験で中国人と仕事や日常生活を共にし、中国と中国人に対していろいろ感じた。

1. 好奇心が強く、自尊心が強い、話をするときに注意

2. 雇用契約が3年、5年、転職が前提、技術情報を自分の私有にする

3. 民間企業でも会社や職場に共産党組織があり、集会や視察を行っている会社の形式的なトップは共産黨員、実務は民間人

4. 5SやFMEAは知っている、使っている。しかし本質がわかっていないので

表面的だけ(これは中国だけでなく、日本でも多くがそうだが)

5. 自動車産業で新技術を開発、生産する会社には、土地は無償貸与、設備費は政府が貸してくれる。つまりやる気があるれば、手元資金なしでも起業できる

6. 自動車会社は200社くらいあり、いろんな自動車を開発している

また、この機会に中国を見物しようと思いい、中国各地を見物した。

変速機開発の勤務地として4か所、サブライヤー訪問で7か所、私的旅行で16か所を訪問した。

そこで感じたことは次のようなことだ。

1. 多くの人がフレンドリー、特に内陸の人は親切だ

2. 中国人が食べる食堂は美味くて安い100元(1,600円)あれば十分、酒も飲める。地元の人が行く、店の床が土間のようなレストランが美味い

3. 内陸部の湖南省の料理は辛い、トウガラシで料理が赤く見える、西部の重慶へ行くと山椒も入る。浙江省は辛いくない、日本の味に近い

4. 中国人と行くバス旅行は2泊3日で500元(8,000円)、日本人として参加すると5倍以上する

づいていくと、いきなり『はー』と息をかけた。そしたら酒臭い。『どうしたんだ、酒くせーぞ』というのと、『さっき三枝酒店でワンカップ1本キユーと飲つてきた』というのだ。昼間から酒を飲んでうらやましいことだなあと感心したもんだつた。

また、その御仁の挨拶も変わっていた。朝学校で会うと遠くから『おはよう』と声をかけてきて、握手をするのである。手を差し出されるので私も彼の手を握るのだが、手を握つた瞬間にかならず放屁をするのである。『おつ、今日は調子いいぞ』と大きなおならの音で本日の体調を確認するという寸法である。毎朝行かう私との挨拶は、彼の体調を確認する儀式となつていった。

まだまだ、面白かつたエピソードはたくさんあるが、これらは、この愉快な級友たちと酒を酌み交わすことが、今でも多いのだが、その場のトークとして場を盛り上げてくれる。

そうそう、私も少しやんちゃめいたことをして、停学2回ほどくらつています。

ひとつには、親まで巻き込んで申し訳ない気持ちも少しはあるが、その母親も一風変わつていてそのやんちゃな後始末に、とある日、沼津の家庭裁判所に呼び出さ

れ、母親と二人で出向き、黒装束の判事の前で、『もう二度とこんなことはさせません』といつて謝らせた記憶がある。しかしだ、しかし母親曰く『せっかく沼津まで来たんだから、富士急デパートに行つて買い物して帰ろう』と言ひ出した。私はなんやねんと思つたが、続けて母が言うのに『私まだ動く階段に乗つたことがないさあ。一度乗つてみたいなあ。テレビでしか見たことない。富士急にあるだつて。』その裁判所の帰り、電車の中で『ああ、沼津に来てよかつた。』だとき。

私は今伴侶を亡くして7年になるが、彼ら同級生との今でも続く濃い付き合いの中で、生きていくことを感じ、彼らに支えられているなあと感じています。先週も渡井が蕨の醤油漬けを自分が作つたといつて持つてきてくれた。

随想

われらが担任

大石 広和

(高二十九回)

富友会の集まりで創立100周年記念

事業の記念アルバム原稿を見ていると懐かしい人に出会いました。われらが担任小田切靖先生です。体育祭の仮装行列で「座頭市」（勝新太郎が演じていた盲目の居合の達人）に扮してました。



われらが担任のトレードマークは眼鏡です。めちゃくちゃ目が悪くて、牛乳瓶の底のような眼鏡をかけていつも汗をかいていました。授業に熱中しすぎるといつも眼鏡を教卓に置き、腰のタオルで額の汗を拭くのがお得意のスタイルです。

あれは夏前の期末テスト直前の英語の授業でした。私の友達が教卓に置いた先生の眼鏡を隠したらどうなるか検証して

みようと。もちろん自分も大いに賛同し、計画案にしっかりと乗っかりました。まったく担任を何だと思っている振る舞い。しかし、予想に反してというか、いや予想以上の結果で、眼鏡を探して教壇をおろる歩き回り、挙句の果てには教卓にぶつかかり、転げ落ちてクラス中大爆笑。期末テスト直前の殺伐とした雰囲気は一気に和らぎました。

それ以来、われらが担任は眼鏡をはずしては生徒に眼鏡を隠されていじるのがお決まりのルーティンとなり、視力の弱い担任をさらに誇張してついに体育祭における座頭市の誕生となったのです。まったく馬鹿げた提案をわれらが担任は飲み込んでくれました。下手をすれば人権問題にも発展するやもしれないとんでもない内容なのに。

40年以上も前の話で今とは学校を取り巻く環境も大きく違っていきます。私自身も担任と同じ教職の道を歩み、学校現場の実情はよく理解しているつもりです。それでもわれらが担任は懐も大きくかけがえのない存在でした。まさしく名物先生。生徒に寄り添う力は足元にも及ばない。

担任の話で盛り上がるクラス会をまたやりたい。 合掌

理想 真夜中のハンドボールコート

深澤 竜介
(高三十三回)

44年前、昭和53年11月某日午後11時半、富士高のハンドボールコートは満天の星の下でした。「すのこ」を敷いて毛布に身をくるみながら、いまにも降ってきそうな星を眺めながら私は浅い眠りにつきました。

当時クラス対抗の球技大会は1年生ハンドボール2年生サッカー3年生ラグビーで行われていました。我が1年D組は、担任がハンドボール専門の寺田嘉一先生だということもあって、大いに盛り上がりました。優勝目指して、初めて手にするハンドボールに夢中になりました。攻撃陣の二人が、相手の守備陣をガードしてスペースを作って、そこに味方が走りこんでシュートを行う寺田先生直伝の「観音開き」というシステムが特にD組チームの得意技でした。

各クラスも熱が入り、競って練習をしていました。我がD組は、富士高のそばに住んでいるのにもかかわらず、いつも

は遅刻ギリギリに登校してくるA君が朝早くコート取りに頑張っていました。その時間が、7時、6時半、6時、5時半と日々早まっていきました。各クラス熾烈な争いです。ハンドボールの練習の中身よりも、コート取り争いに執念を燃やしている状況でした。

そんな日々の中で、どういう話の展開か、富士宮から自転車通学で通っていた私は、「夜家を抜け出して、夜中に来れば、コートの確保はできるだろう」と考え、実行に至りました。家族が寝静まった11時過ぎに家を出て、髪の毛をなびかせながら岩本山を自転車を下り、富士高に到着し、ハンドボールコートで、一夜を過ごしたわけです。毛布にくるまっていたものの、さすがに、11月の屋外です。熟睡できるわけはありません。ウトウトしながら、浅い眠りの中にいました。たしか1時過ぎに、A君もやってきました。

「誰かいるぞー!」翌朝4時にハンドボールコートに響き渡った声を私は忘れることができません。早起きして、学校にやってきましたほかのクラスのメンパーが、我々を発見して、驚いて声を上げたのです。「4時に来れば、さすがにコートを取れるだろう」と思いやってきたら、先客がいた!

さぞや驚いたことでしょう。私は、眠気で、驚いた彼の顔を見ながら、「してやりたり」とニヤつていました。

その日は、さぞや朝練に熱が入ったか？いやいや練習にやつてきたD組の仲間を目にしたら眠気が一気に襲ってきて、ハンドボールの練習どころではありません。朝練もしないし、授業にも出ないで、帰宅の途につきました。また、ここまで加熱したため、翌日からは、朝練のコート取りは禁止になり、各クラスに割り当てられたことは言うまでもありません。

そして、我がD組の球技大会の結果はどうだったか？確か一回戦負けだったと記憶しています。全くもって笑い話ですね。今でも、1年D組の仲間と会うとこの話になります。

それから44年。今思えば、意味もないことに夢中になった時間はかけがえのないものだと思います。その後の人生も、損得なしに、何かに夢中になることの連続でしたが、その原点は、真夜中のハンドボールコートにあったのだと納得しましたし、そんな時間を与えてくれた母校に感謝です。

回想

青春のリグレット

大澤 智 正

(高三十九回)

私達は昭和63年の第39回卒、大学時代はバブル真っ盛り、就職時にはそろそろと崩壊の足音が忍び寄る、世の中が大きく変わる時代でした。

私は、静岡鉄道株式会社に入社、社有地の管理・自動車の販売・不動産の販売、プロジェクトでは自社電子マネー事業に携わりました。富士駅南・吉原の「しずてつストア」で決済音「ちやっさり！」をお聞きいただいた方もいらっしやるかと思えます。今は静鉄グループの自動車ディーラーで店舗開発を行っており、不動産事業と自動車事業の融合したプロジェクトのため、今までの仕事の集大成の気持ちです。30年駆けずり回りながら、様々な先輩や同僚、取引先の皆さんに助けていただき、育てていただきました。とても感謝しています。

今回は未だに引き摺っている青春の苦い思い出とそこから学んだことを書いてみたいと思います。同級生に会い「何部

だったっけ？」という話になることが多い。

その理由は、“1年生だけ”のサッカー部だったからです。顧問の岡田先生に「サッカー部辞めたいです」と言った時に「大澤、キーパーやりたいんだろ？基礎やってキーパーやればいいじゃないか」と走ることが苦手な私に言っていたのだにも関わらず、厳しい練習や遊びの誘惑に負けて逃げてしまいました。

ただ、たった1年間の富士高サッカー部の経験が活きる転機がやってきました。まずは、大学に行くことと富士高時代のサッカー部の先輩から、「大澤、サッカーやるぞ。」この一言でサッカーに戻ることに。大きな活躍はできませんでしたが、言えばマスコットの存在として、楽しくやれました。

そして就職した年にはJリーグ発足！

次に就職すると、世はJリーグ発足からの空前のサッカーブームで、今ほどレベルも高くないサッカーチームが乱立。希少価値の高い「キーパー」の私は、いろいろなチームから重宝され、会社の先輩から今週末このチーム、来週はあのチームと指示されて毎週駆り出される週末。元来のマスコット気質ですから、どこでもすぐ馴染めました。芸は身を助けると

友会総会への参加や手伝いなどの人集めも苦労しています。そのなかで、「富士高に何もしてもらっていない、何もしてもらわなかった。」というような言葉が時折聞かれます。なるほど、ギブアンドテイクですか。確かに高校3年間で授業を受け、部活動などの活動もありましたが、それ以上何かをされたかという点、特に思い当たりませんね。

でも高校の役割ってそんなもんじゃないですか？ 皆様は高校を卒業して進学、就職など色々な経験をされていると思いますが、高校を卒業してから今日に至るまで、富士高出身者に一人も会わなかった方はどれほどいらっしゃるのでしょうか？ 学校、職場、地域などで出会った人が富士高出身者と分かった時、安心感や親近感を覚えたのではないのでしょうか。そして富士高の話題に触れたのでは？

それだけで富士高の役割は十分だと思えます。富士高卒業生との出会いを仕事なり、遊びなり、どのように人生に活かしていくかはその人本人の考え次第です。

それでも富士高を卒業しても何も恩恵がないと思われる方も多いと思います。私は幹事になって日は浅いので全てを理

解しているわけではありませんが、富友会総会だけを見ると、総会に行く余裕がある人達が集まってお祭り騒ぎをしているように見えなくもありません。富士高卒業生が困窮した際に、手を差し伸べる組織もあります。卒業後は富士高からの働き掛けもありません。だからこそ、これから富士高を卒業していく生徒達が富士高に行ってよかったと思えるような環境を、私達卒業生が創っていかなければならぬのではないのでしょうか。これまでの富士高100年の歴史を変えることはできませんが、これからの富士高を変えていくことは十分可能です。

富士高が生徒達、私達卒業生、地域などに何をできるかという視点からの意見についてはいつか書くことがあるかもしれませんし、ないかもしれません。



随想



富士高時代のこと 現在の自分や同級生の様子

浅井隆志

(高四十四回)

● 富士高時代のこと

私は富士宮で育ち、富士宮市立第四中学校から富士高へ入学しました。毎日身延線に乗って西富士宮駅から豎堀駅まで電車を使って通学をしていました。部活は山岳部に入部し、2年生からは2年生2名と1年生2名の4名のこじんまりとした部で部長をしていました。当時は土曜日午前中は学校がありました。月に1回は山行で土曜日途中退席して山へ行っていました。夏休みは北アルプスや南アルプスでの1週間に渡る縦走をしたり、冬山は八ヶ岳に登ったりと、山岳部の顧問の先生方に連れ添って頂きながら、山登りを満喫していました。

進学の間では、2年生の時にアメリカの大学へ留学することを決めて、そこからはアメリカの大学入学に向けた準備をするようになりました。進学をアメリカ

の大学にすると決めた理由は、将来国際的なビジネスを実現していけるようなキャリアを目指したいと考えたからです。

高校の成績がある程度維持しながらも、英語の TOEFL の試験勉強や、現地の大学のクラスに入ってから困らないように英語の勉強に力を入れて勉強をしました。当時は学校の先生方から、日本の大学に進んでから留学をしたほうが、日本の大学の卒業の資格を取った上での就職活動ができるし、リスクも少ないのでは、というアドバイスを頂いたものの、あまり本気で日本の大学を受験する気にはなれず、積極的にアメリカの大学に入学の応募を行いました。複数合格した中で、最終的にアリゾナ大学 (University of Arizona) を選び、富士高を卒業後、渡米し (初めての飛行機と初めての海外)、無事に学部卒の資格を取って帰国しました (専攻は経営学マーケティング学科)。

●現在の自分や同級生の様子

社会人としてのスタートは、外資系コンサルティングファームの PWC コンサルティング (のちに日本アイ・ピー・エム) に就職、サプライチェーン領域のコンサルタントとして多くのグローバルプロジェクトを経験し、海外勤務 (アメリカ)

力) も経験しました。その後、30代半ばで、コンサルティング職から営業職へキャリアチェンジを行い、外資系 IT 企業 (日本アイ・ピー・エム、シスコシステムズ) での営業職としてのキャリア経験を積みました。グローバルでの世界最先端の IT 技術を活用して、日本のお客様ビジネスの変革をご支援したいという気概を持って、日本の自動車業界のお客様を担当させて頂いています。

約3年程前に、グーグルのクラウド部門へ転職し、お客様は変わらず日本の自動車業界のお客様を担当させて頂き、100年に一度の大変革を迫られているこの業界で、日々最先端の IT 技術を駆使したご支援をさせて頂いています。

自分の同級生とは、facebook で多くつながっていて、静岡、東京、大阪、北海道等全国にいる友人からの投稿を楽しませてもらっています。みんなそれぞれ楽しい投稿をされていて、それらを拝見するのがとても楽しみとなっています。時折富士宮の実家に帰省する際には、リアルで地元にいる同級生と居酒屋に集まって飲みに行ったりして、交友はしっかりできています。以上、簡単ですが、自分の情報を共有します。

随想

法律家の仕事

塩谷知一

(高四十九回)

地元出身の法律家として、どうしたら生まれ育った地域社会のお役に立つことができるのか。その答えは、紛争が起こってから事後的に解決する臨床法務よりも、紛争の予防、紛争への事前の備えといった予防法務にこそあると考え、私どもの法律事務所では、それを業務の中核として日々執務に励んでいます。地域社会に貢献するといっても、我々弁護士は、1件1件の相談案件や受任案件を地道かつ丁寧に積み重ねていくこと以外に方法を持ち合わせていません。その意味で、弁護士という仕事は、世間で思われているよりも極めて地味な仕事といえます。

弁護士としての業務に日々没頭する中で、子ども達向けの職業講話は私の生きがいの1つです。時には、小学校や中学校の授業で、弁護士の生き様を語らせて頂くこともありますし、いじめはなぜいけないか、スマホのどこにリスクが潜むのか、法律家としての立場からお話をさ

せて頂くこともあります。そのような機会を通じ、法的な物の考え方を小中学生のうちから身に付けることの大切さと共に、付度や政治的な妥協もなく、ただ自分の信念と法律のみに従って仕事をすることができるといふ仕事の魅力を伝えていければと思います。

今、長女が母校で学んでいます。無心に勉学に励んでいる姿を横で見ても、法曹を目指した頃の初心を思い起こしつつ、親として負けてはいられないと日々奮闘していますが、さすがに若さと体力では惨敗です。さらに、読書量も負けていることは悔しい限りです。

最後になりますが、法律のプロフェッショナルの資格を与えられた者として、常に意識して法的知識と実務技量の修得に努めなければならないことは自覚しているつもりです。文筆力やプレゼン力といった法律家として必須の能力を高めたことと日々藻掻きながら、やればやるほど法曹の道が果てしないことを知り、時に目眩すら覚えます。だからこそ、生涯を通じて身を捧げる価値がある仕事であると確信しています。

この地域から、母校の後輩から、弁護士を目指す若者が増えて欲しいと切に

願っています。

随想

三十路を超えた『ゆとり世代』

上杉雄大

(高五十九回)

最近テレビでは『Z世代』の若者についての特集が多く目につくが、我々の世代はあの悪名高き『ゆとり世代』である。なにか問題が起こると、これだからゆとり世代はと、ゆとりを枕詞にネガティブな言葉を投げかけられることは日常茶飯であった。すべてを世代のせいにするわけではないが、高校時代の私は確かにいろいろ投げ出しやすく、陸上競技部を1年生途中で退部し、勉強にも身が入らずテストの成績は散々。大学受験でも第一志望に合格しないとわかるや、すぐにすべり止めの大学に進学した。そんな薔薇色とはかけ離れた高校生活を謳歌した私が、今回栄えある富友会に文章を寄稿することとなった。いささか恐縮ではあるが、私の近況について報告させていただきたい。

大学に進学後、私はラグビーに明け暮れながら、歯科医師となった。さらに親の脛をかじりつくし、大学院まで修了し、歯学博士となっている。大学院の専攻は摂食嚥下機能障害で、歯科医師としては珍しい分野である。この摂食嚥下機能障害という名前にあまり聞きなじみがない方が多いかもしれないが、簡単に言ってしまうと病気により食べる機能が低下し、食事が摂りにくく、あるいは摂れなくなる状態を想像していただけたらと思う。

世間一般の歯科治療のイメージはむし歯、歯周病、入れ歯、インプラント、ホワイトニングくらいであろうか。それなのに、なぜ歯科医師なのに、こんな訳の分からない摂食嚥下機能障害という分野を専攻していたのか？冒頭にも書いた通り、高校時代の私はいろいろなことを投げ出した。この『投げ出した』行為はその後何年も自分の心に強く残り、私自身の精神を深く蝕み：まあ要するに「やさぐれた」のだ。やさぐれた私は他の歯科医師と同じ道に進んでも意味がないとひねくれて、この特殊な分野を専攻した。我ながら、こじらせたゆとり世代であったとしか評価できない思考回路である。ただそんなネガティブな感情から進ん

だ分野であったが、食事に困っている方はとても多く、そして深刻であった。考えてみると当たり前だが、人は歯がなくても生きていけるが、食べないと死ぬ。歯科は「医療」であるが、食事は「生活」であることに気づいた。こじらせたゆとり世代”は、いつまでも”やさぐれて”はいられず、ようやく人並みに勉強し始めたのだ。

平成元年生まれの私も、高校を卒業して15年、歯科医師になって10年目、現在妻子持ちの33歳。三十路を超えると、『ゆとり世代』とはいってられない。『生活を支える歯科医師』としてこれからも微力を尽くす所存である。ご興味ある方はぜひご連絡を。

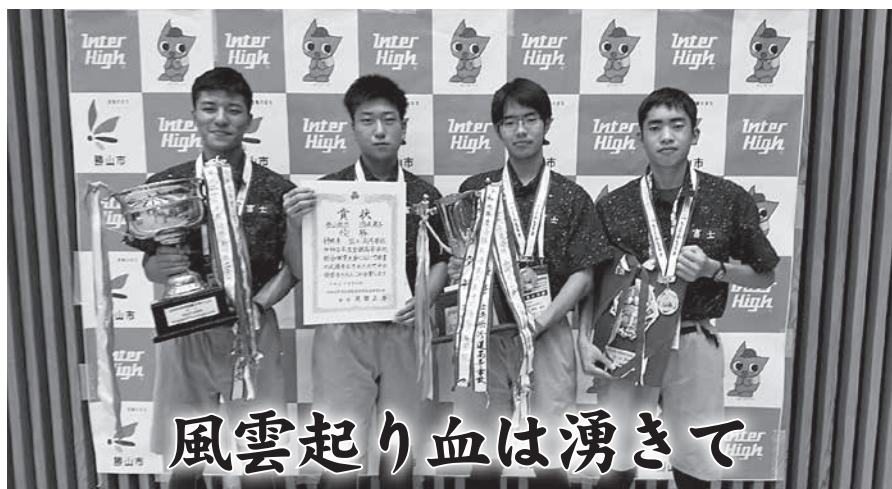
と支離滅裂の文章の最後は私の決意表明と宣伝のような形となってしまう大変恐縮ではあるが、末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



表紙写真を提供していただけませんか？

富友会会誌の表紙になる富士山の写真をお持ちの方、御提供下さい（縦長の構図で、初夏のものを希望します）。来年5月までに富友会校内幹事までお寄せ下さい。





風雲起り血は湧きて

部活動の記録

インターハイ 県大会出場

吉野 慎平 3年 走高跳
 深澤 康太 3年 800m
 小泉 純也 3年 400mH
 城戸 心羽 3年 1500m
 800m

勝又心々菜 3年 400mH
 遠藤萌々花 3年 1500m
 800m

高三 優希 3年 400m
 200m

高山 裕多 2年 1500m
 芦澤 海音 2年 400m
 川口 陽生 2年 走高跳
 山崎瑛里奈 2年 100mH
 4×100mR
 女子(朝日・高三・山崎・勝又)
 4×400mR
 女子(勝又・高三・佐野・城戸)
 男子(齋藤・小泉・阿部・深澤)

新人戦 東海大会出場

丸山 裕久 2年 3000mSC
 高木 帆花 2年 800m

運動部

【野球部】

春季静岡県大会 出場
 夏季大会 2回戦敗退
 秋季大会 東部大会 3回戦敗退
 富士市スポーツ祭 準優勝
 三村旗争奪野球大会 3位

【サッカー部】

令和3年度静岡県高等学校新人大会 県大会出場
 令和3年度高校総体 県大会出場
 第100回全国高校サッカー選手権大会 1回戦敗退

【陸上競技部】

インターハイ 東海大会出場

城戸 心羽 3年 800m
 勝又心々菜 3年 400mH

【女子ソフトテニス部】

団体 静岡県高等学校総合体育大会
 東部10位 県大会出場
 静岡県高等学校新人体育大会
 東部10位 県大会出場
 個人 静岡県高等学校総合体育大会
 東部ベスト32 齋藤・神尾ペア
 静岡県高等学校新人体育大会
 東部ベスト32 長坂・松永ペア

【男子バスケットボール部】

高校総体 東部地区予選
 予選リーグ 1位通過
 決勝トーナメント 2回戦敗退
 選手権大会 1回戦敗退

【柔道部】

個人
 静岡県東部高等学校総合体育大会
 5位 米田 一陽 県大会出場
 団体
 第6回静岡県春季東部地区高等学校柔道大会
 5位 県大会出場

【剣道部】

静岡県高等学校総合体育大会剣道競技部地区大会
 男子団体の部 3位
 女子団体の部 4位
 男子個人の部 11位 渡邊 公嵩
 富士地区剣道大会
 高校男子団体戦 3位
 新人戦東部地区大会
 男子団体 5位
 男子個人 14位 渡邊 伊吹
 女子団体 4位
 女子個人 11位 山賀 優心

新人戦 県大会出場
 丸山 裕久 2年 3000mSC
 高山 裕多 2年 1500m
 芦澤 海音 2年 400m
 川口 陽生 2年 走高跳
 篠根 大輔 2年 走高跳
 高木 帆花 2年 400m
 800m
 山崎瑛里奈 2年 100mH
 吉川 元基 1年 やり投
 4×100mR
 男子 (芦澤・高山・佐野・鈴木)

【男子ハンドボール部】

高校総体 東部地区予選 6位
 高校総体 県大会 2回戦進出
 新人戦 東部地区予選 3位
 新人戦 県大会 4位

【女子ハンドボール部】

県高校総体 東部予選 優勝
 県高校総体 3位
 東海高校総体 出場
 新人戦 東部予選 優勝
 新人戦 県大会 準優勝

【男子ソフトテニス部】

第69回高校総体
 団体 東部9位 県ベスト16
 個人 志岐・後藤ペア
 東部ベスト24 県大会出場
 新人戦
 団体 東部4位 県ベスト8
 個人 志岐・後藤ペア
 東部ベスト16 県大会出場
 朝倉・浦部ペア
 東部ベスト32 県大会出場

【水泳部】

静岡県東部中部地区高等学校選手権水泳競技大会			
50m自由形	8位	夏目 悠貴	
	10位	加藤 大寛	
100m自由形	5位	夏目 悠貴	
	10位	菅沼 香保	
200m自由形	7位	高梨千帆里	
400m自由形	8位	高梨千帆里	
200mバタフライ	3位	高田 真優	
100m背泳ぎ	1位	杉山 智哉	
200m背泳ぎ	1位	杉山 智哉	
100m平泳ぎ	8位	加藤 大寛	
400m個人メドレー	7位	高田 真優	
男子400mフリーリレー			
	4位	夏目・加藤・木内・杉山	
男子400mメドレーリレー			
	5位	杉山・加藤・森本・木内	
女子400mフリーリレー			
	9位	高梨・青島・高田・設楽	
女子400mメドレーリレー			
	8位	高梨・設楽・高田・皆川	

静岡県高等学校総合体育大会水泳競技			
100m背泳ぎ	4位	杉山 智哉	
200m背泳ぎ	4位	杉山 智哉	

東海高等学校総合体育大会水泳競技			
100m背泳ぎ	出場	杉山 智哉	
200m背泳ぎ	出場	杉山 智哉	

静岡県高等学校新人水泳競技大会			
50m自由形	7位	夏目 悠貴	
100mバタフライ	7位	羽二生 絆	

【男子バドミントン部】

高校総体東部予選			
〈男子シングルス〉	野村 優輝	8位	
	朝日 隆仁	14位	
〈男子ダブルス〉	野村・佐々木ペア	2位	
	小泉・朝日ペア	11位	
〈男子団体〉		4位	
高校総体県予選			
〈男子シングルス〉	野村 優輝	ベスト8	

【卓球部】

県高校総体東部予選			
男子団体	6位		
女子団体	5位		
男子シングルス	ベスト16	池田琳太郎	
女子シングルス	4位	石井 那果	
	9位	藤田 姫叶	
	ベスト16	西浦 香穂	
	ベスト32	大村みのり	
男子ダブルス			
	ベスト24	池田琳太郎・木戸 良	
		飯塚 広人・岩城 皓大	
女子ダブルス			
	ベスト12	石井 那果・西浦 香穂	
	ベスト24	藤田 姫叶・前川 朋葉	
以上県大会出場			
県新人大会東部予選			
男子団体	5位		
女子団体	3位		
男子シングルス	ベスト16	岩城 皓大	
	ベスト24	飯塚 広人	
女子シングルス	ベスト8	石井 那果	
	ベスト16	西浦 香穂	
以上県大会出場			

【山岳部】

県高校総体登山競技 男子 優勝			
全国高等学校総合体育大会（福井県）			
登山大会 男子 優勝			
	加藤 泰平	小川 大道	
	鈴木 敬太	佐藤 健人	
県高校総体登山競技 女子 2位			
東海高等学校総合体育大会（三重県）			
登山大会 女子 2位			
	鈴木 実祐	金森 由真	
	榎間 春香	佐野 円花	
静岡県竜爪山岳競技大会			
女子個人	1位	鈴木 実祐	

【演劇部】

第61回富士・富士宮地区高校演劇合同発表会
原 菜乃葉 作「徒然、草も生えず」
優秀賞 ならびに 創作脚本賞
第45回静岡県高等学校演劇研究大会
優秀賞 ならびに 創作脚本賞

【囲碁・将棋部】

令和3年度静岡県高等学校将棋県大会
男子個人戦 北 大生 第3位
第32回静岡県高等学校将棋新人戦東部大会
男子団体戦 第5位(県大会出場)
男子個人戦 北 大生 優勝
第32回静岡県高等学校将棋新人戦県大会
男子個人戦 北 大生 第7位
令和3年度静岡県高校総合文化祭囲碁部門
東部大会
男子個人戦 鬼塚 寛士 優勝
令和3年度静岡県総合文化祭囲碁部門県大会
男子個人戦 鬼塚 寛士 優勝
令和3年度東海地区高等学校囲碁選手権大会
男子個人戦 鬼塚 寛士 第4位

【美術部】

第69回静岡県高等学校美術・工芸展
東部展
特選絵画
「羽化」 1年 大川 侑希
特選デザイン
「範囲外を動く動点P」 2年 伊東璃々子
入選絵画
「私の知らない思い出」 2年 中島 陶子
「むこうがわ」 2年 渡邊 亜実
「青春桜歌」 2年 竹内 優花
「階段」 2年 遠藤花乃子
「かける」 2年 高杉 美結
「たゆたう」 2年 石川絵里衣
「新世界」 1年 大津 歩果
「これが、恋!？」 1年 富山 李

〈男子ダブルス〉 野村・佐々木ペア 4位
〈男子団体〉 ベスト8
選手権大会東部予選
〈一年男子シングルス〉 山本 泰吉 14位
新人戦東部予選
〈二年男子シングルス〉 朝日 隆仁 6位
〈二年男子ダブルス〉 朝日・石川ペア 6位
〈男子団体〉 4位
新人戦県予選
〈男子団体〉 ベスト8

【女子バドミントン部】

高校総体 東部地区予選
〈個人ダブルス〉
佐野・鬼塚 ベスト16
選手権大会 東部地区予選
〈一年初心者シングルス〉
石川 侑奈 5位 県大会出場
野村 麻結 6位 県大会出場
新人戦 東部地区予選
〈一年シングルス〉
野村 麻結 3位 県大会出場
〈一年ダブルス〉
石川・野村 2位 県大会出場

文化 部

【吹奏楽部】

第62回静岡県吹奏楽コンクール
東部地区大会高等学校の部 金賞
第29回静岡県高等学校吹奏楽祭
審査員特別賞
第55回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト
東部地区大会
フルート五重奏 銀賞
クラリネット六重奏 銀賞
サクソフォン四重奏 銀賞
打楽器六重奏 銀賞

【書道部】

第66回新春書作展

静岡県高等学校書道教育研究会理事長賞
上野 百笑

第22回高校生国際美術展書の部

奨励賞 長田 萌
佳作 小長谷菜穂
高島 美月
佐野 沙那

令和3年度静岡県高等学校文化祭書道部門

個人の部
特選（全国大会出品予定） 佐野 沙那
特選 宮川 晴海
地区選抜の部
奨励賞 栗田 晶子
特別賞 吉村 有智

【華道部】

小川さや香 高等科皆伝取得
田嶋 麻菜 中等科中伝取得
鈴木 晴菜 中等科中伝取得
深澤 美加 中等科中伝取得
後藤 果乃 中等科中伝取得
時田 笑子 中等科中伝取得
伊藤なつこ 初等科初伝取得

【新聞部】

第45回全国高等学校総合文化祭出場
第25回全国高校新聞年間紙面審査賞 優良賞校
静岡県高校新聞コンクール 優秀賞

「星」 1年 図師 紘希
「海の月」 1年 木村 優那
令和4年度全国高等学校総合文化祭出品
「範囲外を動く動点P」 2年 伊東璃々子

【百人一首部】

令和2年度静岡かるたリーグ優秀賞
渡邊詞美、宮澤志帆、木村美月、吉澤龍平、
渡邊真衣、浦川千歌
第43回全国高等学校選手権大会静岡県予選
富士高校 準優勝
第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会
渡邊詞美が県代表として出場
第33回静岡県高等学校かるた選手権大会
富士高校 優勝
第33回静岡県高等学校かるた新人大会
富士高校A 準優勝
富士高校B 6位
富士高校C 12位
東海地区高等学校かるた大会
（競技の部）富士高校 3位
（読誦の部）田口孔士郎 優秀読手

【写真部】

第39回静岡県高等学校写真コンクール
奨励賞 11HR 前澤 愛香
令和3年度静岡県東部高等学校写真連盟
第1回コンクール
一席 22HR 塩谷 和美
特選 33HR 小長谷 咲
35HR 金子 瑞姫
入選 38HR 小泉彩香里
23HR 星野 愛
23HR 前原 優大
13HR 吉田 暁紀
令和3年度静岡県東部高等学校写真連盟
第2回コンクール
三席 23HR 前原 優大
入選 11HR 金子 果蓮
11HR 前澤 愛香
12HR 佐野亜結良

学び続けよう－2022年度入試を振り返る－

共通テスト2年目となった今年度入試も終わりました。2年目で難化するとの見方もあった共通テストは実際に難化する結果となりました。平均点は「数学Ⅰ・A」をはじめとして7科目が、センター試験を通じて過去最低点となりました。かねてから言われていたことが、出題の特徴については、全体的に授業での学習プロセスや日常生活の場面を題材にした問題や、複数の資料・図等から情報を読み取って考察する力を重視する問題が目立ち、問題文の読解に時間がかかる傾向が顕著にみられました。全国の受験生が苦戦を強いられ、前年度より軒並み全体平均を下げる中、本校の下げ幅は県下で最も小さく、富士高生は頑張りを見せました。2学期当初、「第一志望校を安易に諦めることなく、最後まで諦めずに取り組んでいこう」「全員で頑張るという雰囲気作りをしよう」と、生徒達に訴えました。放課後補講への取り組みや難関大模試への挑戦等、生徒達は主体的に学習してくれました。11月の初旬には、志望校が同じ生徒達を個々に集めて、諦めず努力を続けるよう激励するとともに、取立て他者に志望を知らせることで仲間意識を持たせ、互いに切磋琢磨しているという雰囲気作りをしました。大いに刺激を受けたように見えましたし、力強い目つきに安堵したことを覚えています。更に、直前補講、英語や地歴の添削をはじめ、各々が計画した学習に意欲的に取り組み、着実に実力を伸ばしました。全ての生徒が納得のいく結果に繋がれたわけではありませんでしたが、生徒達はよく健闘しました。結果にかかわらず、自身と真摯に向き合い必死に学習した経験は、今後の生徒達の大きな財産になるものと確信しています。あわせて保護者の皆様の御理解と御協力にも、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

この学年は、入学以来新しい事に取り組んできました。総合探究の時間は「心見考」と名付けられ、【思考力】【判断力】【課題解決能力】【表現力】を磨いてきました。答えのない問いに対して自身で考え、考えたことを周囲に伝え、他者と協働しながら自身の考えを深めていく。手探りの状態でスタートし、教育と探究社を始め、様々な業者や専門家の意見を伺いながら試行錯誤を繰り返しました。ただ教えられるだけの生徒から、自ら学びを創り出し深めていく生徒へと変わって行かなければいけない。多種多様な課題への取り組みで身に付けた力が、受験の際に大いに役立つものと信じて3年間取り組んできました。3年次に、20年後の自身の姿に

ついて堂々と語る姿を目の当たりにした時、心見考の成果を感じました。心見考での取り組みをきっかけにして、授業や家庭学習においても目標設定し、結果に至るまでのプロセスを自身で組み立てられるようになること、物事の本質を考え主体的に学習することを目指しました。自身の課題を明確にし、計画的に取り組む力を身につけてくれたと思います。

改めて、「何の為に大学へ行くのか」について考えてみた。大学に入ることが目的ではありません。大学でどのような術を身につけ、どのような人生を歩むのかを考え尽くすことが大切です。知識が豊富であることは言うまでもないのですが、物事を突き詰めて深く考え、その知識を活かして「自分ならこうする」という自分の考えを持つことが重要だと思えます。勉強した学習を生かしてどのように社会に貢献していくのか。

学びは大学生生活だけでは終わらない。社会の激しい変化に対応するためには、生涯学び続けなければなりません。校歌の歌詞「国家有為の材たればよい存在を目指し、日々成長していかなければならない」と思っています。

高校生活を振り返ってみると、新型コロナウイルスの影響で生活活動に支障が出る中、様々な場面で我慢を強いられました。しかし、学校や生徒達の努力とたくさんの方々の協力によっていくつかの困難を乗り越えてきました。これからも、先行き不透明な時代だからこそ、何を考えてどう行動するかということに真剣に向き合わなければなりません。

卒業式で胸を張って式場をあとにする姿や、教職員に丁寧に敬礼をお礼を述べている様子を見て頼もしく思いました。新時代の人材像として思考力や創造力が重視され、より主体的で深い学びが求められていくことは確かです。卒業にあたり、私は生徒達にこんな言葉を送りました。

「やらない言い訳より、知恵を出して行動しよう。社会の激しい変化に対応するため、生涯学び続けよう」

私自身もこの3年間を謙虚に反省しつつ、新たな年度を生徒達とともに歩んでゆこうと思います。向上心を忘れず、学び続けようと思います。

未筆となりましたが、すべての皆様が平穏で幸せな日常を取り戻すとともに、卒業生諸君の更なる活躍と、自立した「成人」となることを心から祈念します。

2021年度 第3学年部主任 松本 晶嗣

合格者数一覧

大学種別コード	現 役	既 卒 者	現・既 計	
	本年度 (昨年度)	本年度 (昨年度)	本年度 (昨年度)	本年度 (昨年度)
国立大学	153 (145)	8 (9)	161 (154)	215 (196)
公立大学	53 (39)	1 (3)	54 (42)	
私立大学	1,110 (951)	30 (31)	1,140 (982)	1,140 (982)
国公立短期大学	3 (3)	0 (0)	3 (3)	5 (7)
私立短期大学	2 (4)	0 (0)	2 (4)	
文科省所管外大学	4 (5)	0 (1)	4 (6)	4 (6)
各種学校・専修学校	4 (2)	0 (0)	4 (2)	4 (2)
総 計	1,329 (1,149)	39 (44)	1,368 (1,193)	1,368 (1,193)

入試年度 現・既別	R4年度		R3年度		R2年度		入試年度 現・既別	R4年度		R3年度		R2年度		入試年度 現・既別	R4年度		R3年度		R2年度	
	現	既	現	既	現	既		現	既	現	既	現	既		現	既	現	既	現	既
成専創大	12	55	9	23	7	14	フェリス女子	2		1	2	関西外国語	11	1	7	5	2			
大東大	1				4	7	横浜商科	3		2	2	近畿	17	2	15	3	2		24	2
大東大	3		5		4	9	横浜美	1		3	9	摂南	6	1	10	1	3		1	1
大東大	2		1		1	1	金沢工	1		1	1	桃山学院	6	1	10	1	3		1	1
中津	36	3	29		35	5	北京科学	1		1	1	関西学院	1			1				
帝京大	6	3	6	3	6	1	健康科学	1		1	1	甲南女子	1			2				
東海大	4	3	4	3	4	1	岐阜女子	1		5	2	神戸芸術工	3		2	2				
東京家	27		31		19	1	岐阜聖徳学	1		4	4	神戸女子	1		1	1				
東京家	2	1	1	1	1	1	静岡産業	3		2	1	神戸松蔭女	1		1	1				
東京家	1	2	2	1	2	1	静岡理工科	3		6	6	武庫川女子	1						1	
東京家	5	9	11		11		聖隷クリス	3		7	1	神戸常盤	1		3					
東京慈	1		1		1	1	常葉	144	152	1	104	1	1	2						
東京女	6	10	2		2	1	静岡英和学	1		4	1	吉備国際	2		1	2				
東京女	1		1		1	1	静岡福祉	1		2	2	広島工	1		2					
東京造	1	1	1		1	1	愛知学	2		2	3	安田女子	1						1	
東京電	6	1	9		8	2	愛知学院	2		2	2	山	1							
東京農	25	16	28		25	1	愛知学	1		1	1	(私立大学合計)	1109	31	952	31	879	103		
東京薬	2	6	3		3	1	愛知淑徳	1		2	2									
東京理	21	4	23	5	15	9	愛知みずほ	2		1	1									
東京邦	2	10	3		3		金城学	2		1	3									
東京松	50		28		24		中京	8	15	3	5									
日本歯	28	3	16	1	36	5	東海学	5	3	2	6									
日本歯	2		2		2	1	豊田工	1		1	2								4	
日本歯	2		1		1		名古屋外	1		1	20									
日本女	12	1	10		10		名古屋学	1		1	1									
日本女	2		2		2		名古屋女	1	1	1	1									
日本体	12		2		2		名古屋山	8	1	1	2									
法政	59	1	26		30	6	日本福祉	1	1	1	2									
星武	2	2	1		1		藤田医	18	6	11	16									
武蔵野	6		10		5	2	名城	18	11	5	16									
武蔵野	8		1		1		豊橋創	1	1	1	1									
武蔵野	9	1	11		11	1	愛知工	1		1	1									
明治学	53	2	27		31	5	人間環	1	1	1	1									
明治学	16		10		3	2	愛知東	1		1	1									
明治学	4	2	1		1		名古屋芸	1		4	4									
明治学	3	1	1		1		名古屋	1		1	1									
立正教	14	2	11		18	3	鈴鹿医	4		4	4									
立正教	2		2		2		京都外	1		2	5									
早稲田	14		12	4	7	4	京都先	1		1	1									
早稲田	1		1		1		京都産	1		1	5									
麻布					3		京都女	13		5	3									
神奈川	17	17	36		1		京都精	1		1	1									
神奈川	1	7	9		6		京都橋	4												
鎌倉女	1	2	6		6		京都薬				1									
関東学	9	6	11	4	4		同志社	18	15	2	5	4								
相模女	1		1		1		同志社	7	1	1	1									
湘南工		3					立命館	47	20	2	28	7								
昭和横	1		1				龍谷	5	6	4										
桐蔭							大阪医	2			1									
東京工							大阪芸	1	2		1									

【短大・準大・専修】

防衛医科大学校	1		1		1	
国立看護大学校	1		1		1	
職業能開大学校	2		2		4	
防衛大学校	3		1			
川崎市立看護短大	1		1			
静岡県大短大	3		1			
三重短大	1		1			
帝京短大	1		1			
東京歯短大	1		1			
目白大短大	1		1			
神奈川歯短大	1		1			
鶴見大短大	1		1			
山梨学院短大					1	
常葉大短大	1				2	
浜松学院短大					1	
静岡医科専門	1					
沼津情報ビジネス専門					1	
京都芸術デザイン専門					1	
東京動物専門					1	
<短大等合計>	10	0	14	0	10	0

大学別合格者数（延数）

学校だより

入試年度 現・既別	R4年度		R3年度		R2年度		大学別	入試年度 現・既別	R4年度		R3年度		R2年度		大学別	入試年度 現・既別	R4年度		R3年度		R2年度				
	現	既	現	既	現	既			現	既	現	既	現	既			現	既	現	既	現	既	現	既	
【国立大学】							奈良女子	3				1				【私立大学】									
室蘭工		1					島根	1					4	1			酪農学園				1		1		
旭川医						1	山口	4	1			4	1			東北福						2			
帯広畜	1		1				徳島	1	1			1				東北医	1	1				1		1	
北海道	4		3	1	5	1	香川	1								つくば	1						3		
北教大					2		高知	1		1						足利				1					
東京大	11	1	7	2	6		九大	2		2		1			国際医	4			3	1				1	
宮城教			1				宮崎			1					自治医				1	1					
秋田	2				1		宮崎	1				1			獨協		1								
山形	1						鹿児						1		群馬										1
福島	2				1		琉球					1			跡見	1							2		
茨城	2	1	6	1	4		〈国立大学合計〉		153	8	145	9	161	12	埼玉	1			1				1		1
筑波	2				2		【公立大学】							獨文	7			6			3				
宇都	1				2		秋田	1					1		明	4							1		
群馬	3				2		山形	1		1					成	2									
千叶	11		10		5		保健	1							国	2									
東京海	1				1		会津			1					東	16	1	14				7			
お茶	1		1		5		福島	1							田外	1		6							1
電気通	1		4		2		茨城	1							千中	1		14		1		1			
東京	1		3	1	1		前橋	1	1		1			帝東	1		1		1			1			
東京	1				3		高崎	2		2				東京	1		1								
東京	6				5		埼玉	1			1			青	1		1								1
東京	1		2		1		千葉	3		4		3	1	京	1		1					1			
東京	1		1	1	1		東京	4				3		京	17		12					12			
東京	3				1		神奈	9		5		1		青	2		1						1		
東京	4		3		4	4	横浜	1		1				山	2		3					5			
横越	4				4		富山	1		2				立	2		4					7			
新潟	2		3				石川	1					2		福	2						1	1		
富山	2		3				山梨	1		2			3		山	6						1	1		
金沢	1		4				長野	1					1		立	20	1	10				12	2		
福山	1				3		長野	1							杏	4		3				2			
山信	4	1	10		8		諏訪	1					1		立	3		5	1	3		3	1		
静岡	7		7		5		岐阜	1							慶	5		4	1			5	5		
静岡	35	1	45	2	37		静岡	3		2		2			惠	10						1			
浜松	3		3		6	1	静岡	19	1	13	1	19			泉	15						8			
豊橋	3		1		1		愛知	1					1		工	4						5			
名古屋	8				1		名古屋	1						1	学	25		2				18			
名古屋	1		1		1		大阪	1		2		2			国	15						6			
三重	1				2	1	兵庫	1							士	2						2			
京都	4		1	1	1		神戸	1							国	27		15				6			
京都	1		1		1		芸術	1		1					学	27	1	43				2	3		
京都	1		3	1	4	1	和歌	1		1					順	11	1	22				15	1		
京都	1		1		1		島根	2					1		上	4		4				2	2		
京都	1		1		1		岡山							1	昭	2		2				3	1		
大阪	3		4		3	1	尾道								昭	5		3				2	2		
大阪	3		1		3		立								和	3						4			
神戸	3		2		3		立	1							女	1						4			
兵庫	1				1		立								成	12		9				2	1		

最近3年間の卒業生の合格状況

1. 合格状況の分析

(1) 国公立大学

国公立大学の一般選抜の志願者数は、42万8,657人と前年から約3,200人増加、募集人員に対する志願倍率は前年同様の4.3倍となった。国公立入試の中心となる前期入試の志願者数はおおむね前年並みとなった。18歳人口は前年から2万人減少したが、国公立大学をめざす受験生は大きく減らず、堅調に志願者を集めた。センター試験を例にとると、平均点が大きく下がった年は国公立大学の出願を諦める受験生が増え、特に募集人員が少なく難易度が高くなりがちな後期日程での影響が顕著だったが、本年度は共通テストの平均点が大幅ダウンとなった状況の中でも前向きに出願した受験生が多かった様子が伺われる。

2022年度入試における本校の国公立大学現役合格者数は206人（総合選抜・学校推薦型含む）であった。共通テストの平均点が大幅ダウンし、コロナ禍での不安に揺れた昨年に続き、志望動向の読みづらい入試となった。合格した生徒の多くは、最後まで諦めずに直前補講や個別指導をしっかりと受け、真摯に勉強に向かっていた。その結果、後期試験でも旧帝大の北海道大学や九州大学、千葉大、名工大、電通大など17名の生徒が合格を勝ち取った。また英検定を利用し、合格した生徒も多数いた。

難関国公立大学の結果（ ）内は昨年度人数

東京1名(3) 京都4名(3) 医学部医学科4名(4)
東京工業1名(2) 大阪3名(4) 東北11名(7)
名古屋8名(4) 北海道4名(3) 九州2名(2)

(2) 私立大学

昨年度の志願者数が延べ数で50万人以上、14%も減少した反動か、志願者数の前年比は103%増、志願者数合計が10万人超えの大学も昨年より増えた。入試方式別に見ると一般方式が104%であるのに対して、共通テスト利用方式は101%であった。これには共通テストの平均点が低得点となったことが影響していると考えられる。一方、本校では共通テスト利用で合格を勝ち取った生徒も多数を占めた。この結果は、本校生徒が全国平均が大きく下がった中でも大きく点数を下げることなく、確かな力を身に付けていることの表れであり、最後まで5教科7科目を学び続けることの重要性を改めて認識するものであった。

難関私立大学結果（ ）内は昨年度人数

早稲田14名(12) 慶應義塾5名(4) 上智4名(4)
東京理科21名(23) 立教14名(11) 明治53名(27)
同志社18名(16) 立命館47名(20)

2. 校種別合格者延数

入試年度	校種		国立大		公立大		私立大		短大・準大・各種		合計	
	現	既別	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者
令和4年度	153	8	53	1	1,110	30	13	0	1,329	39		
令和3年度	145	0	0	0	951	31	14	0	1,110	31		
令和2年度	161	12	41	3	880	103	10	0	1,092	118		

3. 校種別・系統別による現役合格者延数

校種	人 文			法・経・商・社会			理 工			医歯薬医療			教 育		
	R4	R3	R2	R4	R3	R2	R4	R3	R2	R4	R3	R2	R4	R3	R2
国立	12	12	19	30	13	22	59	71	61	12	13	20	24	18	21
公立	4	4	7	16	10	11	9	8	4	17	13	13	0	0	0
私立	176	164	196	369	193	180	281	307	222	111	131	110	47	57	60
国公立短	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	6	0	1	0	0
準大・各種	0	1	0	0	0	1	2	2	3	1	2	1	0	0	0
合計	192	181	222	416	216	214	351	388	290	143	165	144	72	75	81

校種	農 水 産			家 政			そ の 他			合 計		
	R4	R3	R2	R4	R3	R2	R4	R3	R2	R4	R3	R2
国立	8	8	14	3	0	4	5	10	0	153	145	128
公立	1	2	1	0	0	4	6	2	1	53	39	42
私立	30	20	87	49	20	15	46	59	10	1,109	951	763
国公立短	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	7	5
準大・各種	0	0	0	0	0	4	0	0	1	3	5	9
合計	39	30	102	53	21	27	57	71	12	1,323	1,147	947

静岡県立富士高等学校・旧制富士中学校卒業生 人材の情報提供のお願い

本校の卒業生も30,000余名を数え、多くの方が各界で活躍されています。本校同窓の方々による母校のためへの有形無形の御協力に対して、心より感謝申し上げます。在校生にとっては、諸先輩方の活躍ぶりを見聞きすることで、母校愛を深めるとともに進路選択にも大きな目標となっています。

現在本校では、卒業生やPTAの方々を講師に迎え、「進路講話」を実施しています。また、大学訪問や進学相談等でも諸先輩方の話を伺うこともあります。これらの機会は生徒にとってたいへん貴重なことで、進路決定にたいへん役立っています。そこで、今後も進路指導や教科指導さらにPTA活動などで御協力いただきたく、各界で御活躍されている本校卒業生の方々のデータベース化を進めたいと思います。つきましては、下表のような形式でファックス・郵送などにて情報を寄せていただければ幸いです。

また、お寄せいただいたデータにつきましては、①富士高生に対する講話等の依頼以外には利用いたしません。②講演等を依頼する場合には、学校が責任を持って改めて御本人に了解を取ります。

(富士高校進路課)

項目	内 容
1	大学・諸機関で教育・研究職にいる方
2	上場企業等の経営者など
3	文化活動・執筆・芸能界・スポーツ等で活躍の方
4	国・地方自治体で活躍の方
5	その他

注意事項：本校卒業と公表されてもよい方を御紹介ください。

自薦他薦を問いません。

情報を提供してくださる方の連絡先もお知らせください。

該当者氏名	本校卒業年次	活 動 内 容	連絡先など

郵送の場合 〒416-0903 富士市松本17 富士高校 進路課（奥村）宛

FAXの場合 0545-64-7349 富士高校 進路課（奥村）宛

事務局より

毎年お願いしております富友会・クラブ後援会賛助金は、昨年度一、〇七八件のご協力をいただきました。大変ありがたく思っております。

賛助金はお気持ちですので、おいくらでも（一口に満たない一、〇〇〇円、二、〇〇〇円でも）構いません。なお、金額を変更する場合は、お手数ですが郵便局での手続きとなります。よろしくお願い致します。

今後とも富友会の活動にご理解いただきますようお願い申し上げます。

振り込め詐欺にご注意下さい

振り込め詐欺につきましては、この数年報告は受けておりませんが、相変わらず県内の高校で名簿を悪用したと思われる被害が発生しています。「携帯電話が壊れた」などという電話は詐欺と思い、警察に通報して下さい。よろしくお願いいたします。

富友会ホームページについて

富友会のホームページがあります。富士高校のホームページと富友会のホームページとリンクしています。是非ご覧下さい。各支部・各年次の活動等の紹介・情報発信、同窓会開催時の掲載もできます。積極的にご利用下さい。また、一口五、〇〇〇円で、バナー広告を受け付けています。



令和3年度 富友会会務報告

令和3年

4月9日(金) 100周年第2回正副専門部会

長会

富士高校視聴覚室

各部署からの経過確認・報告

今後のスケジュールについて

4月14日(水)

100周年記念事業第2回実行委員会

富士高校応接室

経過確認・報告、今後のスケジュールについて

4月26日(月)

富友会第1回役員会
富士高校小会議室
総会について

……富士交流プラザで

10月16日(土) 懇親会無し

100周年ここまでの経過説明

5月6日(木)

第1回常任幹事会
富士高校視聴覚室
総会について

会計報告等、100周年記念事業について

5月14日(金)

100周年第3回正副専門部会
長会

富士高校視聴覚室

各部署長から報告

募金活動の方針について

6月23日(水)

100周年第4回正副専門部会
長会

富士高校視聴覚室

各部署長から説明

寄付金について 趣意書内容
検討

7月19日(月)

部活動奨励金授与式
富士高校小会議室

山岳部(男子)、百人一首部、

新聞部、写真部、書道部

定時制…柔道部、陸上部

9月24日(金)

100周年記念事業第3回実行
委員会

富士高校視聴覚室十オンライン

各部長から説明

100周年記念講演について

……パネルディスカッションで

10月16日(土)

富友会総会

富士交流プラザ多目的ホール
会務・会計報告、事業計画等

担当…高校32回

100周年記念事業ブレイベ
ント

記念ソング披露 結花乃

記念講演 東京家政学院大学

特別招聘教授

野村浩子(32回生)

12月20日(月)

100周年第5回正副専門部会
長会

富士高校特本4A教室

各部会進捗状況説明

令和4年

2月28日(月)

富友会入会式
富士高校体育館

入会の言葉…

学年幹事長 藤安美空

記念品贈呈

学年副幹事長 牛苜武士

船村会長他役員9人出席

富友会奨学金授与式

富士高校小会議室

奨学生…全日制6人、
定時制4人

船村会長出席

3月29日(火)

100周年第4回実行委員会兼
第6回正副専門部会長会

富士高校視聴覚室

各部会進捗状況説明

事務局だより

○卒業年次毎のタックシールを印刷します。

同窓会等の案内にご利用下さい。料金は

一、五〇〇円です。また、八十周年記念の「校

歌・応援歌」のCDを五〇〇円で販売して

います。タックシールはサラトに、CDは

事務局までご連絡下さい。

○校内幹事の異動について

この春の校内幹事の異動は次の通りです。

転出

数学 青木 正明 星陵高等学校

体育 久保田達也 富士宮東高等学校

理科 鳥居 利美 富士宮北高等学校

社会 根岸 淳 富岳館高等学校

転入

理科 木内 亮

英語 新村 雅子

社会 加藤佑太郎

校内幹事は、現在19名です。校内事務の
取りまとめは青木照明(34回)が行います。
よろしく願います。

令和3年度 富友会寄付年次別一覧 (令和4年4月19日現在、単位：千円)

年次(中学)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	18	19	20	21				
寄 付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	8	0	2	4				
年次(高校)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
寄 付	6	24	12	32	56	36	60.5	40	45	95	64	84	66	54	58	63	50	39	73	78	72	46	42	56	49	44
年次(高校)	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
寄 付	34	14	52	45	75	50	32	40	20	30	38	14	24	12	30	22	22	22	14	6	12	10	6	10	14	12
年次(高校)	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	定	合計		
寄 付	8	6	10	6	11	12	15	6	2	6	8	10	12	23	20	14	29	12	24	33.5	40	0	75	2,405,000		

総件数 1,092件 合計 2,405,000円

令和3年度 富友会 収支会計報告

一、収支計算書 (令和3年4月1日~令和4年3月31日)

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
I 事業活動収支の部		
1 事業活動収入		
①入会金収入	1,656,500	全日制 ¥5,000×325名 定時制 ¥1,500×21名
②賛助金収入	3,360,106	会報発行協力金
③名簿売上収入	6,000	
④バナー広告料	2,809	
⑤各種代金収入	1,000	CD代×2枚
⑥雑収入	128	定期・普通預金利息、3年生学年会計残金、寄付
事業活動収入計	5,026,543	
2 事業活動支出		
①富友会奨学金支出	420,000	全日制 ¥50,000×6名 定時制 ¥30,000×4名
②部活動奨励金支出	200,000	団体10万円×1 個人1万円×5 定時制5万円
③記念品代支出	260,000	卒業証書ファイル
④総会助成金支出	0	
⑤会議費支出	51,703	幹事学年運営補助金 ¥50,000+お茶代 ¥1,703
⑥通信費支出	18,100	切手・郵送代
⑦会誌印刷代支出	3,360,106	
⑧会誌発行作業経費	0	
⑨慶弔費支出	46,600	
⑩広告宣伝費	242,000	H.P.管理費
⑪教員餞別支出	102,000	
⑫寄付金	0	
⑬雑費支出	194,992	卒業アルバム、マフラータオル ¥850×200+税 ¥17,000
⑭100周年雑費	0	
事業活動支出計	4,895,501	
事業活動収支差額	131,042	
II 投資活動収支の部		
1 投資活動収入	0	
2 投資活動支出	0	
投資活動収支差額	0	
III 財務活動収支の部		
1 財務活動収入	899	
2 財務活動支出	1,100	
財務活動収支差額	▲201	
当期収支差額	131,042	
前期繰越収支差額	2,835,205	
次期繰越収支差額	2,966,046	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲 資金には、普通預金の他に未収入金を含めております。なお前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりであります。

2 次期繰越収支差額の内訳

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期末残高
普通預金	2,835,205	2,966,046
未収入金	0	0
合計	2,835,205	2,966,046
次期繰越収支差額	2,835,205	2,966,046

二、正味財産増減計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位 円）

	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①入会金	1,656,500	1,628,500	28,000
②賛助金	3,360,106	2,400,000	960,106
③名簿売上収益	6,000	877,000	▲ 871,000
④バナー広告料	2,809	56,000	▲ 53,191
⑤各種代金収入	1,000	1,500	▲ 500
⑥雑収入	128	71	57
経常収益計	5,026,543	2,563,044	2,463,499
(2) 経常費用			
①富友会奨学金	420,000	420,000	0
②部活動奨励金	200,000	0	200,000
③記念品代	260,000	261,760	▲ 1,760
④総会助成金	0	0	0
⑤会議費	51,703	50,987	716
⑥通信費	18,100	11,798	6,302
⑦会誌印刷代	3,360,106	1,068,226	2,291,880
⑧会誌発行作業経費	0	2,400,000	▲ 2,400,000
⑨慶弔費	46,600	87,500	▲ 40,900
⑩広告宣伝費	242,000	264,000	▲ 22,000
⑪教員餞別	102,000	98,000	4,000
⑫寄付金	0	0	0
⑬雑費	194,992	8,787	186,205
⑭100周年雑費	50	145,871	▲ 145,871
経常費用計	4,895,501	4,853,731	41,770
当期経常増減額	131,042	▲ 2,290,687	2,421,729
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	899	0	899
(2) 経常外費用	(1,100)	0	▲ 1,100
当期一般正味財産増減額	130,841	▲ 145,229	276,070
一般正味財産期首残高	14,519,421	14,664,650	▲ 145,229
一般正味財産期末残高	14,650,262	14,519,421	130,841
II 指定正味財産	該当ありません		
III 正味財産期末残高	14,650,262	14,519,421	130,841

三、令和3年度貸借対照表 令和4年3月31日現在

（単位 円）

資産の部	金額	正味財産の部	金額
(流動資産)			
・普通預金	2,966,046	1 指定正味財産	0
・未収入金	0	2 一般正味財産	11,743,243
・定期預金	8,777,197		
資産の部合計	11,743,243	正味財産の部合計	11,743,243

四、令和3年度財産目録 令和4年3月31日現在

（単位 円）

	項 目	金額
① 普通預金	静岡銀行 富士支店 no.0270280	110,516
	スルガ銀行 富士支店 no.255-038	28,964
	清水銀行 富士支店 no.2340097	211,116
	しずおか焼津信用金庫 吉原支店 no.0604563	2,615,450
	合 計	2,966,046
② 未収入金	㈱サラトより未収入金	0
③ 定期預金（基金）	静岡銀行 富士支店 no.0089320	8,777,197
	スルガ銀行 富士支店 no.9728795 解約	0
	清水銀行 富士支店 no.2340097002 解約	0
	合 計	8,777,197
	①+②+③ 総 合 計	11,743,243

上記の通り報告いたします

令和4年4月1日 会計幹事 近藤 健

監 査 報 告 書

令和4年3月31日
会計監事 佐野 良治

- 1 私は、静岡県立富士高等学校「富友会」の令和3年4月1日から令和4年3月31日に至る会計年度の決算報告について、次の事項を監査した。
- (イ) すべての財源及び使途
(ロ) 年度末の経理状況が適正に表示されているか
- 2 この監査にあたって、私は、通常実施すべき監査手続きを実施した。
- 3 監査の結果、静岡県立富士高等学校「富友会」の会計処理は適正で、富友会会則に従って処理されており、また、令和3年4月1日から令和4年3月31日に至る会計年度の決算報告書は「すべての財源及び使途」及び「年度末の経理の状況」を適正に表示しているものと認める。

以上のとおり報告いたします。



「静岡県立富士高等学校 クラブ後援会」からのお願い



富友会会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のことと存じます。日頃から母校クラブ後援会に対し御支援、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本校クラブ後援会は、施設設備の拡充、外部講師の費用、部活動の団体登録費、教職員の大会引率旅費等の財源として大切に使用させていただいております。また、東海大会以上の生徒旅費もこのクラブ後援会から支出しており、令和4年度は、山岳部(女)、百人一首部、新聞部、美術部、書道部、囲碁・将棋部、また定時制では柔道部、陸上競技部が全国大会に出場しました。在校生諸君も先輩方の御厚意に感謝しつつ、期待に応えられるよう日々努力を続けております。

母校のさらなる発展のため、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月吉日

富士高等学校クラブ後援会 会長 野澤 洋 (高14回)

令和3年度 クラブ後援会賛助会費 (件数)

年次(中学)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	18	19	20	21			
寄付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	1	2				
年次(高校)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
寄付	3	12	6	15	26	18	26	19	21	34	24	40	25	26	22	18	25	16	33	33	36	22	20	26	23
年次(高校)	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
寄付	22	17	7	26	19	19	25	15	20	10	15	18	7	11	5	15	11	11	11	7	3	6	5	3	5
年次(高校)	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	定
寄付	6	6	4	3	5	3	4	6	6	3	1	3	4	5	6	11	10	7	14	6	12	16	20	0	35

総件数 1,087件 合計 1,087,000円

富友会会誌 No.75

令和4年7月15日発行

発行所 静岡県立富士高等学校同窓会富友会

静岡県富士市松本17 ☎ 0545(61)0100 FAX 0545(64)7349

【富士高校卒業生が狙われています！】

～サギ電話は必ずかかってきます!!～

詐欺グループから押収した名簿やリストの中に、富士高校の卒業生名簿がありました。

実際に富士高校の卒業生宅を狙って不審電話が多発しています。

自分は大丈夫と以为っていても、御実家の御両親や祖父母などが犯人のターゲットとなっています。

あなたや御家族の大事な財産を守るため、「家族間の合言葉」や、「不審な電話を受けた際の確認ルール」等をあらかじめ決めておき、騙されないための防御をしましょう。



富士警察署・富士防犯協会

0545-51-0110

